

天文文化研究 基本資料リスト

平成 31 年 10 月 25 日更新
真貝寿明¹

天文と文化の融合をはかる研究を進める上で、共通となる文献リストがあれば、有用かと思いました。私の手元にあるもの、入手したいと思っているものをリストにします。（*印は家に 2 冊あった）

目次		3.3 山本義隆	6
		3.4 藪内清	6
1 天文学史	1	4 雑誌記事	7
1.1 通史 入門書	1	4.1 日経サイエンス	7
1.2 通史	1	4.2 星ナビ	8
1.3 古典に残された記録	2	5 報告書	8
1.4 宇宙観, 自然観	2	5.1 国立天文台報	8
1.5 イスラム	3	5.2 国立天文台欧文報告	9
1.6 インド	3	5.3 人文学報	9
1.7 東洋 (中国・韓国)	3	5.4 関西大学博物館紀要	9
1.8 日本 (古代)	3	6 学会誌	10
1.9 日本 (江戸)	3	6.1 天文月報	10
1.10 日本 (明治以降)	4	6.2 天界	12
2 科学史, 世界史	4	6.3 天文教育	12
2.1 科学史 入門書	4	6.4 科学史研究	14
2.2 科学史	4	6.5 日本洋学史研究	16
2.3 近代科学の勃興	5	7 原著	16
2.4 日本	5	7.1 図録, 図鑑	16
3 著者別	5	7.2 日本科学技術古典籍資料	16
3.1 山下克明	5	7.3 文明源流叢書	17
3.2 勝俣隆	5		

1 天文学史

1.1 通史 入門書

- *Michael Hoskin 著 中村 士訳『西洋天文学史』(丸善サイエンス・パレット新書, 2013)
- *中村 士『東洋天文学史』(丸善サイエンス・パレット新書, 2014)
- 廣瀬匠『天文の世界史』(集英社インターナショナル新書, 2017)
- Leofrane Holford-Strevens 著 正宗聡 訳『暦と時間の歴史』(丸善サイエンス・パレット新書, H25)

1.2 通史

- 渡辺敏夫『近世日本天文学史 (上)』(恒星社厚生閣, S61)

¹hisaaki.shinkai@oit.ac.jp, <http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/>

- 渡辺敏夫『近世日本天文学史（下）』（恒星社厚生閣, S61）
- 日本学士院編『明治前日本天文学史』（臨川書店, S35）
- 中山茂『天の科学史』（講談社学術文庫, 2011）（朝日選書, 1984）
- クリストファー・ウォーカー（著）, 山本啓二（翻訳）, 川和田晶子（翻訳）『望遠鏡以前の天文学』（恒星社厚生閣, 2008）

1.3 古典に残された記録

- 齊藤国治『星の古記録』（岩波新書, 1982）
- 齊藤国治『歴史の中の天文』（雄山閣, H29）
- 齊藤国治『古天文学 パソコンによる計算と演習』（恒星社, 1989）
- Giulio Magli 著, 上田晴彦訳『古代文明に刻まれた宇宙 天文考古学への招待』（青土社, 2017）
- 神田 茂『日本天文史料』, 原書房, 1978（恒星社, 1935）
神田 茂『日本天文史料総覧』, 原書房, 1978（恒星社, 1935）
飛鳥時代から戦国時代末期（1600年）までの文献に見られる天文記録を集めたもの。東大史料編纂所の史料をもとに日本の天文記録を詳細に収集した貴重な文献。『総覧』は年代順に史料を整理したもの。
- 齊藤国治『国史・国文に現れる星の記録の検証』（雄山閣, 1986）
- 大崎正次『近世日本天文史料』（原書房, 1994）
慶長6年（1601年）から慶応3年（1867）までの天文記録。日本天文史料に続く江戸時代の天文史料を収集・整理したもの。天文月報 87（1994）11号, p509 に長谷川一郎氏による書評あり。
- 鈴木 健一（編集）『天空の文学史—太陽・月・星』（三弥井書店, 2014）

1.4 宇宙観, 自然観

- Helge Kragh 著 竹内努ほか訳『宇宙観 5000年史 人類は宇宙をどうみてきたか』（東京大学出版会, 2015）
- 中村 士, 岡村 定矩『人は宇宙をどのように考えてきたか』（共立出版, 2011）
- 荒川 紘『東と西の宇宙観 東洋篇』（紀伊國屋書店, 2005）
荒川 紘『東と西の宇宙観 西洋篇』（紀伊國屋書店, 2005）
- 荒川 紘『日本人の宇宙観 飛鳥から現代まで』（紀伊國屋書店, 2001）
- 鈴木貞美『日本人の自然観』（作品社, 2018）
- 矢野道雄『星占いの文化交流史』（勁草書房, 2004）
- 龍谷大学創立 380 周年記念書籍編集委員会（著, 編集）『時空を超えたメッセージ 龍谷の至宝』（法藏館, 2019）
- 宮橋裕司『民話が語る自然科学』（慶応義塾大学出版会, 2009）
- 寺門和夫『「銀河鉄道の夜」 フィールド・ノート』（青土社, 2013）
- 柴山元彦『宮沢賢治の地学教室』（創元社, 2017）

1.5 イスラム

- 佐藤次高『イスラーム 知の営み』（山川出版社，2009）
- *三村太郎『天文学の誕生 イスラーム文化の役割』（岩波科学ライブラリー，2010）

1.6 インド

- 矢野道雄『密教占星術 宿曜道とインド占星術』（東京美術，S61）
- 矢野道雄『占星術師たちのインド』（中公新書，1992）
- 林隆夫『インドの数学』（中公新書，1993）
- 定方晟『インド宇宙論大全』（春秋社，2011）

1.7 東洋（中国・韓国）

- N・セビン著 中山茂・牛山輝代訳『中国のコペルニクス』（思索社，1984）
- 陳 遵 x（著），浅見 遼（翻訳），滝川 巖（補筆）『中国古代天文学簡史 日訳版』（近代出版，1983）
- 岡本さえ『イエズス会と中国知識人』（山川出版社 世界史リブレット 109，2008）
- 姜生（著），三浦國雄（翻訳）『道教と科学技術』（東方書店，2017）
- 任 正○『朝鮮科学史における近世』（思文閣出版，2011）

1.8 日本（古代）

- 橋本万平『日本の時刻制度』（塙書房，1966）
- 板倉聖宣『日本史再発見 理系の視点から』（朝日新書，1993）
- 有坂隆道『古代史を解く鍵 暦と高松塚古墳』（講談社学術文庫，1992）

1.9 日本（江戸）

- *大矢真一『日本科学史散歩 江戸期の科学者たち』（中央公論社，S49）
- 林淳『天文方と陰陽道』（山川出版社 日本史リブレット 46，2006）
- W. ミヒェル，鳥井由美子，川寫真人（編）『九州の蘭学 越境と交流』（思文閣出版，2009）
- 渡辺敏夫『近世日本科学史と麻田剛立』（雄山閣出版，1983）
- 大分県立先哲資料館編『大分県先哲叢書 麻田剛立 資料集』（大分県教育委員会，1999）
- 松尾龍之介『長崎蘭学の巨人 志筑忠雄とその時代』（弦書房，2007）
- 中村邦光『江戸科学史話』（創風社，2007）
- 中村士監修『江戸の天文学』（角川学芸出版，H24）
- 笠谷和比古編『18世紀日本の文化状況と国際環境』（思文閣出版，2011）

- 嘉数次人『天文学者たちの江戸時代: 暦・宇宙観の大転換』(ちくま新書, 2016)
- 新戸雅章『江戸の科学者』(平凡社新書, 2018)
- 池内了『司馬江漢 江戸のダ・ヴィンチの型破り人生』(集英社新書, 2018)
- 小林ふみ子『へんちくりん江戸挿絵本』(集英社インターナショナル新書, 2019)

1.10 日本 (明治以降)

- 広瀬隆『文明開化は長崎から 上 下』(集英社, 2014)
- 武田楠雄『維新と科学』(岩波新書, 1972)
- 日本天文学会編『日本の天文学の百年』(恒星社厚生閣, 2008)
- 小暮智一『現代天文学史』(京都大学学術出版会, 2016)

2 科学史, 世界史

2.1 科学史 入門書

- 中山茂 石山洋『科学史研究入門』(東京大学出版会, 1987)
- 橋本毅彦『図説 科学史入門』(ちくま新書, 2016)
- 伊達宗行『理科で歴史を読みなおす』(ちくま新書, 2010)
- 橋本萬平『科学史の横道』(日本古書通信社, 2008)

2.2 科学史

- G. サートン著, 平田寛訳『古代中世科学文化史 1,2,3,4,5』(岩波書店, S32)
- 秋田茂(編)『グローバル化の世界史』(ミネルヴァ書房, 2019)
- 伊東俊太郎(編集), 村上陽一郎(編集)『比較科学史の地平 (講座科学史 3)』(中公文庫, 1989)
- S・ワインバーグ著, 赤根洋子訳『科学の発見』(文藝春秋, 2016)
- D.Livingstone 著, 梶雅範, 山田俊弘訳『科学の地理学 場所が問題になるとき』(法政大学出版局, 2014)
- O. ノイゲバウアー著, 矢野道雄, 斎藤潔訳『古代の精密科学』(恒星社厚生閣, 1990)
- 金子務(監修) 日本科学協会(編)『科学と宗教 対立と融和のゆくえ』(中央公論新社, 2018)
- Morris Kline 著 中山茂訳『数学の文化史』(河出書房新社, 2011)
- 伊藤義教『ペルシア文化渡来考 シルクロードから飛鳥へ』(ちくま学芸文庫, 2001)
- D. Gutas 著, 山本啓二訳『ギリシア思想とアラビア文化』(勁草書房, 2002)

2.3 近代科学の勃興

- 伊東俊太郎『近代科学の源流』(中公文庫, 2007)
- P. Pesic 著, 竹田円訳『近代科学の形成と音楽』(NTT 出版, 2016)
- 田中一郎『ガリレオ裁判』(岩波新書, 2015)
- L. M. Principe 著 菅谷 暁、山田 俊弘 訳『科学革命』(丸善サイエンス・パレット, 2014)
- J. ヘンリー著 東慎一郎訳『一七世紀科学革命』(岩波書店, 2005)

2.4 日本

- 中村邦光, 板倉聖宣『日本における近代科学の形成過程』(多賀出版, 2001)
- 佐藤和弘『幕末・明治生まれ9人の科学者』(北方新社, 2016)
- 山田 慶兒『日本の科学』(藤原書店, 2017)
- 小山慶太『漱石, 近代科学と出会う』(NHK ラジオ科学と人間 テキスト, 2016)

3 著者別

3.1 山下克明

- 山下克明『平安時代の宗教文化と陰陽道』(岩田書院, 1996)
- 山下克明『陰陽道の発見』(日本放送出版協会 NHK ブックス, 2010)
- 山下克明『平安時代陰陽道史研究』(思文閣出版, 2015)
- 山下克明『平安貴族社会と具注暦』(臨川書店, 2017)
- 山下克明 大塚活美(監修)『図説安倍晴明と陰陽道』(読売新聞大阪本社編 河出書房新社 ふくろうの本, 2004)

3.2 勝俣隆

- 勝俣隆『星座で読み解く日本神話』(あじあブックス 大修館書店, 2000)
- 勝俣隆『異郷訪問譚・来訪譚の研究 上代日本文学編』(和泉書院, 2009)
- 勝俣隆『上代日本の神話・伝説・万葉歌の解釈』(おうふう, 2017)

3.3 山本義隆

- 山本義隆『重力と力学的世界 古典としての古典力学』（日本評論社，1981）
- 山本義隆『古典力学の形成 ニュートンからラグランジュへ』（日本評論社，1997）
- 山本義隆『磁力と重力の発見 〈1〉 古代・中世』（みすず書房，2003）
山本義隆『磁力と重力の発見 〈2〉 ルネサンス』（みすず書房，2003）
山本義隆『磁力と重力の発見 〈3〉 近代の始まり』（みすず書房，2003）
- 山本義隆『一六世紀文化革命 1』（みすず書房，2007）
山本義隆『一六世紀文化革命 2』（みすず書房，2007）
- 山本義隆『世界の見方の転換 1 天文学の復興と天地学の提唱』（みすず書房，2014）
山本義隆『世界の見方の転換 2 地動説の提唱と宇宙論の相克』（みすず書房，2014）
山本義隆『世界の見方の転換 3 世界の一元化と天文学の改革』（みすず書房，2014）
- 山本義隆『近代日本 150 年』（岩波新書，2018）

3.4 藪内清

刊行中，現在 5 巻まで。 <http://www.rinsen.com/linkbooks/ISBN978-4-653-04440-6.htm>

第 1 巻 定本 中国の天文暦法

第 2 巻 漢書律曆志の研究／隋唐暦法史の研究

第 3 巻 天文学史 1

第 4 巻 天文学史 2

第 5 巻 科学史／技術史

第 6 巻 自然科学史／数学史／医学史

第 7 巻 欧文・中文論文／付録／総索引

4 雑誌記事

4.1 日経サイエンス

- 日経サイエンスで「科学史」をキーワードに検索したものの中から. <http://www.nikkei-science.com>
- 1998年7月号 算額に見る江戸時代の幾何学 算額の問題に挑戦してみませんか?
- 2004年12月号 天才大比較 アインシュタインとニュートン A. ライトマン (物理学者, 作家)
- 2005年3月号 盗まれた名声 海王星発見秘話 The Case of the Pilfered Planet by W. Sheehan, N. Kollerstrom, & C. B. Waff (SCIENTIFIC AMERICAN December 2004)
- 2007年2月号 星座の起源 B.E.Schaefer 著 槇原凜訳
- 2007年2月号 北斗七星と東洋の星座 宮島一彦
- 2009年12月号 特集:「起源」に迫る
- 2010年3月号 2000年の眠りから覚めたギリシャの計算機 Decoding an Ancient Computer by T. Freeth (SCIENTIFIC AMERICAN December 2009) http://www.nikkei-science.com/page/magazine/1003/201003_044.html
- 2011年11月号 よみがえったアルキメデス <http://www.nikkei-science.com/?p=12069>
- 2014年7月号 地動説への反論 科学者が革新的アイデアに慎重な理由 The Case Against Copernicus by D. Danielson & C. M. Graney (SCIENTIFIC AMERICAN January 2014) http://www.nikkei-science.com/201407_094.html
- 2015年12月号 冥界のナビゲーター 棺に描かれた天体運行表 Stars of the Dead by S. Symons & E. Tasker (SCIENTIFIC AMERICAN October 2015) http://www.nikkei-science.com/201602_050.html
- 2016年2月号 特集:古代エジプトの社会と科学 冥界のナビゲーター 棺に描かれた天体運行表 S. サイモンズ (加マクマスター大学) E. タスカー (北海道大学) http://www.nikkei-science.com/201602_050.html
- 2018年10月号 特集:科学書に見る知の源流 科学はいかに生まれたか 坂本邦暢(明治大学) 山本貴光(文筆家・ゲーム作家) デイヴィッド・ドイチュ(オックスフォード大学) http://www.nikkei-science.com/201810_051.html

<http://www.nikkei-science.com/?tag=nippon> 天文遺産

- 2016年11月号 新連載: nippon 天文遺産 第1回「天文遺産への思い」 渡部潤一
- 2016年12月号 第2回 日本で最初に星空を撮影したブラッシャー天体写真真儀 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2017年1月号 第3回 日本最古の星野写真乾板 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2017年3月号 第4回 65cm 屈折望遠鏡と大赤道儀室(上) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2017年4月号 第5回 65cm 屈折望遠鏡と大赤道儀室(下) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2017年5月号 第6回 20cm 屈折望遠鏡と第一赤道儀室 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫・末松芳法
- 2017年6月号 第7回 レブソルド子午儀と子午儀室(上) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫・中嶋浩一
- 2017年7月号 第8回 レブソルド子午儀と子午儀室(下) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫・中嶋浩一
- 2017年8月号 第9回 9cm バンベルヒ子午儀 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫・中嶋浩一
- 2017年9月号 第10回 樺太国境を決めたバンベルヒ子午儀 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫・洞口俊博
- 2017年11月号 第11回 20cm トロートン望遠鏡 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫・洞口俊博
- 2017年12月号 第12回 日本最初の理科年表 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年3月号 第13回 ゴーチェ子午環(上) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年4月号 第14回 ゴーチェ子午環(下) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年5月号 第15回 アインシュタイン塔(上) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年6月号 第16回 アインシュタイン塔(下) 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年7月号 第17回 三鷹国際報時所の門柱 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年9月号 第18回 リーフラー時計 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2018年11月号 第19回 東京天文台1号官舎 中島林彦+渡部潤一・中桐正夫
- 2019年3月号 第20回 写真天頂筒

- 2019年x月号 第21回
 2019年5月号 第22回 6m ミリ波望遠鏡 中島林彦+渡部潤一・林左絵子
 2019年6月号 第23回 名古屋大空電研 1.5m 太陽電波望遠鏡 中島林彦+渡部潤一・石黒正人
 2019年9月号 第24回 野辺山ミリ波望遠鏡 中島林彦+渡部潤一・石黒正人

4.2 星ナビ

- 「古天文」キーワードに検索すると、<https://www.astroarts.co.jp/shop/category/magazine-j.shtml>
- 2008年3月号 古天文よりみち紀行1 殿様の月 -大分県竹田市・岡城跡の三日月岩 前田知絵
 2008年10月号 古天文よりみち紀行2 天変地異の時代 -神奈川県藤沢市ほか- 前田知絵
 2009年11月号 古天文よりみち紀行3 熊野の三体月を追って 和歌山県田辺市 前田知絵
 2009年12月号 ガリレオ・ガリレイ 田中一郎
 2010年9月号 古天文よりみち紀行4 石に刻まれた彗星 山梨県笛吹市 前田知絵
 2011年6月号 近代学問の基礎を築いたイスラム世界の天文学 廣瀬 匠
 2011年7月号 近代学問の基礎を築いたイスラム世界の天文学 Part2 廣瀬 匠
 2011年8月号 近代学問の基礎を築いたイスラム世界の天文学 Part3 廣瀬 匠
 2011年9月号 近代学問の基礎を築いたイスラム世界の天文学 Part4 廣瀬 匠
 2012年12月号 古天文よりみち紀行5 鎖国時代の天球儀 久修園寺 前田知絵
 2014年3月号 星に惹かれて浄慶寺参り 「お寺で天文学」 in 京都 (小林仁美)
 2014年9月号 古天文よりみち紀行6 夜更かしして月の出を見る「江戸の二十六夜待」 前田知絵
 2016年3月号 今月の視天『『明月記』の超新星記録を世界へ伝えたアマチュア天文学家 射場保昭』 井上 毅
 2017年5月号 古天文よりみち紀行7 「落下からもうすぐ60年 岡部隕石を伝えたい」 前田知絵
 2017年7月号 古の天文図を解く キトラ古墳-1300年の記憶 齋藤正晴
 2018年4月号 追悼 古在由秀先生を偲んで 中野主一

5 報告書

5.1 国立天文台報

すべて pdf 版が入手できる²。

- 第1巻, 浅野家所蔵「天文方渋川家文書」の調査 (I) 中村 士、伊藤節子、神田 茂
 第2巻, 浅野家所蔵「天文方渋川家文書」の調査 (II) -書簡、天文方代々記を中心に- 中村 士、伊藤節子
 第2巻, 天文学、暦学に関する古文書フィルム再生と活用 (故前山仁郎氏収集による写真フィルム) 伊藤節子、永井隆三郎
 第5巻1 (2001) 久米通賢製作の天文、測量器具 中村 士、澤田 平、長谷川桂子
 第5巻4 (2002) 日本書紀天文記録の信頼性 河鱈公昭、谷川清隆、相馬 充
 第7巻 (2004/4) 幕府天文方渋川景佑と大村藩天文学者峯源助の学問的交流 伊藤節子
 第8巻 (2005/10) 高橋景保が描いた星図とその系統 中村 士、荻原哲夫
 第11巻 (2008/10) 七世紀の日本天文学 谷川清隆、相馬 充
 第11巻 (2008/10) 暦象年表の改訂について 片山真人、松田 浩、福島登志夫、渡部潤一
 第12巻 (2009/4) 暦象年表改訂版の問題点 相馬 充
 第13巻 (2010/10) 『天の磐戸』日食候補について 谷川清隆、相馬 充
 第13巻 (2010/10) 七世紀の日本書紀の巻分類の事例 I. 谷川清隆、渡辺瑞穂子

²<https://www.nao.ac.jp/about-naoj/reports/report-naoj.html>

第 15 卷 (2012/10) 『日本書紀』皇極天皇二年五月十六日の月食記事と元嘉曆 落合敦子、渡辺瑞穂子、相馬充、上田暁俊、谷川清隆

第 15 卷 (2013/4) レプソルド子午儀の重要文化財指定について 中桐正夫、渡部潤一

第 15 卷 (2013/4) 日本最古の星野写真乾板の発見 佐々木五郎、中桐正夫、大島紀夫、渡部潤一

第 15 卷 (2013/4) 七世紀の日本書紀の巻分類の事例 II. 谷川清隆、渡辺瑞穂子

第 18 卷 (2016) p1-12, キトラ古墳天文図の観測年代と観測地の推定 相馬充

5.2 国立天文台欧文報告

すべて pdf 版が入手できる³.

Vol.9 (2007) Trends in 20th Century Celestial Mechanics Takashi ITO and Kiyotaka TANIKAWA

Vol.11 (2008) List of Lunar Eclipses between 1500 BC and 1000 BC Mitsuru SOMA

5.3 人文学報

京都大学人文科学研究所⁴.

第 82 号 (1999 年 3 月), 日本の古星図と東アジアの天文学 宮島一彦

5.4 関西大学博物館紀要

関西大学博物館⁵.

第 5 号 (1999 年 3 月) 飛鳥天文図管見 —キトラ古墳星図の意味について— (橋本敬造)

第 8 号 (2002 年 3 月) 高松塚古墳壁画天文図の年代 (汪勃)

第 11 号 (2005 年 3 月) キトラ古墳壁画十二支像の持物について (網干善教)

第 22 号 (2016 年 3 月) 飛鳥時代推古朝による天の北極及び曆数の獲得 (木庭元晴)

第 23 号 (2017 年 3 月) 天香具山山頂を通過する天の北極軸を基軸とする古代飛鳥寺域と水落遺跡の飛鳥川争奪前後の占地 (木庭元晴)

³<https://www.nao.ac.jp/about-naoj/reports/publications-naoj.html>

⁴<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/zinbun/publications/zinbun.htm>

⁵<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/list/exhibition.php>

6 学会誌

6.1 天文月報

日本天文学会誌「天文月報」の記事は、すべて pdf 版が入手できる⁶。とりあえず、1986–2016/7 年のものから、天文学史に関連しそうなものをピックアップ。年度ごとに変わる編集担当者によって、取り上げるテーマにばらつきがある。

1986 年（第 79 巻）4 号 天文学術誌の興亡 福江 純

1987 年（第 80 巻）3 号 韓国の古代文化 – 天文学を中心として– 坂上 務

1987 年（第 80 巻）5 号 書評 近世日本天文学史 内田正男

1988 年（第 81 巻）5 号 1988 年日本天文学会春季年会大阪開催特別企画:展示と講演会 –「近代天文学の始まりと大阪」日本天文学会大阪開催特別企画実行委員会

1988 年（第 81 巻）12 号 内山龍雄（うちやま・りょうゆう）先生と一般ゲージ理論 成相秀一

1989 年（第 82 巻）1-6 号 近世日本天文学（暦学）人物伝（1-6）

- (1) 渋川春海, 中山 茂
- (2) 麻田剛立, 内田正男
- (3) 高橋至時, 伊藤節子
- (4) 間 重富, 神田 泰
- (5) 渋川景佑, 中村 士
- (6) 伊能忠敬, 吉田 忠

1989 年（第 82 巻）7-12 号 日本に影響を与えた中国の天文暦学者伝（1-6）

- (1) 僧一行, 宮島一彦
- (2) 郭守敬, 宮島一彦
- (3) 利瑪竇, 藪内 清
- (4) 徐光啓, 橋本敬造
- (5) 游藝, 吉田 忠
- (6) 梅文鼎, 川原秀城

1993 年（第 86 巻）12 号 江戸の天文方, 中村 士

1995 年（第 88 巻）1 号 アジアの中の日本（天文の場合）石田ケイ一

1995 年（第 88 巻）5 号 続日本アマチュア天文学史 斎藤馨児

1995 年（第 88 巻）7 号 大型望遠鏡の黎明 藤田良雄

1995 年（第 88 巻）10 号 戦前の学振と天文学 石田ケイ一

1995 年（第 88 巻）11 号 学術研究会議と天文学 石田ケイ一

1995 年（第 88 巻）11 号 日本神話の星と宇宙観（1）勝俣 隆

1995 年（第 88 巻）12 号 日本神話の星と宇宙観（2）勝俣 隆

1996 年（第 89 巻）1 号 日本神話の星と宇宙観（3）勝俣 隆

1996 年（第 89 巻）3 号 ハヤシ・フェイスが発見された頃 杉本大一郎

1997 年（第 90 巻）3 号 戦前の日本天文学会 石田ケイ一

1997 年（第 90 巻）11 号 戦前日本の科学の一側面（天文学の場合）石田ケイ一

⁶<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/>

- 1997年(第90巻)12号 ナスカの地上絵とマリア・ライヘ 1 海部宣男
1998年(第91巻)1号 ナスカの地上絵とマリア・ライヘ 2 海部宣男
1998年(第91巻)8号 インドの伝統天文学 特に観測天文学史について(1) 大橋由紀夫
1998年(第91巻)9号 インドの伝統天文学 特に観測天文学史について(2) 大橋由紀夫
1998年(第91巻)10号 インドの伝統天文学 特に観測天文学史について(3) 大橋由紀夫
1999年(第92巻)5号 三鷹のアインシュタイン塔の物語 齊藤国治
2000年(第93巻)8号 古在共鳴—20世紀を代表する論文として 木下 宙
2002年(第95巻)1号 推古天皇36年の皆既日食記事の信憑性 谷川清隆, 相馬 充
2003年(第96巻)5号 追悼 齊藤国治先生 牧田貢, 長谷川一郎, 横尾広光, 平山 淳
2003年(第96巻)8号 明治期最初の天文学者・寺尾 寿のパリ留学時代 中村 士
2004年(第97巻)1号 箱根「授時曆」合宿 谷川清隆
2005年(第98巻)5号 特集:西洋精密科学受容の先人たち (1)

- シンポジウム「西洋精密科学受容の先人たち-天文方高橋至時没後200年記念-」に寄せて 中村 士, 吉田 忠
- 高橋至時と西洋天文学 吉田 忠
- ラランデの生涯(1732-1807)と業績 Suzanne Debarbat(訳者) 中村 士
- 天文方のラランデ天文書研究 嘉数次人
- 天文方の光学研究 中村 士

2005年(第98巻)6号 特集:西洋精密科学受容の先人たち (2)

- 幕府天文方成立の歴史的意義 山田慶兒
- 漢訳西洋曆算書と近世日本の曆算家 小林龍彦
- 寛政曆と和時計-夜明けの定義をめぐる 橋本毅彦
- 天文方の進歩観, 科学史観-高橋至時を中心にして 中山 茂
- 羽間文庫の高橋至時関係資料 井上智勝
- 伊能忠敬の全国測量と至時 箱岩英一
- シンポジウム「西洋精密科学受容の先人たち」:パネルディスカッション 中村 士

2006年(第99巻)6号 天文学者は歴史を書く 谷川清隆

2006年(第99巻)6号 アインシュタイン外伝-フリードマンとシュヴァルツシルド- 佐藤文隆

2006年(第99巻)10号 書評「授時曆」-訳注と研究- 山本一登

2007年(第100巻)10号 書評 ビクトリア時代のアマチュア天文家 19世紀イギリスの天文趣味と天文研究 矢治健太郎

2007年(第100巻)12号 天文学の発祥と地球環境 中村 士

2008年(第101巻)9号 国立天文台最古といわれた1875年製望遠鏡の物語 中桐正夫

2009年(第102巻)4号 1875年製経緯儀望遠鏡の物語の続編 中桐正夫

2009年(第102巻)11号 400年前のガリレオによる海王星の観測 常深 博

2010年(第103巻)4号 世界天文年 ガリレオの望遠鏡精密復元プロジェクト 秋山晋一・清水浩次・西田省三・井上毅

2011年(第104巻)7号 歴史天文学, ときどき歴史 谷川清隆・相馬 充

2011年(第104巻)7号 風変わりな日時計 奥田治之

2014年(第107巻)12号 渋川春海の天文台 中村 士

2015 年 (第 108 卷) 7 号 明月記をめぐる射場保昭と神田茂・井本進との交わり 竹本修三

2016 年 (第 109 卷) 11 号 悲運のお雇い外国人天文学者エミール・レピシエ (1826-1874) 中村士, シュザンヌ・デバルバ

2017 年 (第 110 卷) 7 号 特集: 歴史書から探る太陽活動

- 巻頭言 特集:歴史書から探る太陽活動 磯部洋明
- 東アジアの歴史書に記録されたキャリントン・イベント 早川尚志・岩橋清美
- 歴史書に眠る太陽活動 1000 年の再検討 玉澤春史・早川尚志・河村聡人・磯部洋明
- 世界最古のオーロラ文字記録と画像記録 三津間康幸・早川尚志

2018 年 (第 111 卷) 12 号 宮本正太郎と旧制姫路高等学校 吉岡克己・本岡慧子

2019 年 (第 112 卷) 11 号 日本天文学会日本天文遺産の発足 半田利弘

6.2 天界

東亜天文学会は、1920 年に山本一清が、アマチュア天文愛好家の集りとして設立した歴史のある団体である。この団体に所属していないと、機関誌「天界」⁷は、なかなか情報が得られず、謎の存在である。

6.3 天文教育

天文教育普及研究会会誌「天文教育」(奇数月刊)は、同人誌的な位置づけだ。2014 年度以前の記事は pdf 版がほしい入手できる⁸。とりあえず、2006-2019/9 年のものから、天文学史に関連しそうなものをピックアップ。

2006 年 (Vol.18) 5 月号 ビルマの星座絵 白井 正

2006 年 (Vol.18) 5 月号 天文系の絵本を求めて 塚田 健

2006 年 (Vol.18) 7 月号 荒木俊馬の天文学教育普及活動 前編 株本訓久

2007 年 (Vol.19) 5 月号 江戸時代の天文学【1】 日本の天文学のはじまり 嘉数次人

2007 年 (Vol.19) 7 月号 江戸時代の天文学【2】 江戸幕府の天文学(その1) 嘉数次人

2007 年 (Vol.19) 9 月号 江戸時代の天文学【3】 江戸幕府の天文学(その2) 嘉数次人

2007 年 (Vol.19) 11 月号 江戸時代の天文学【4】 江戸幕府の天文学(その3) 嘉数次人

2008 年 (Vol.20) 1 月号 望遠鏡 400 年【1】 望遠鏡の発明とガリレオの初めての天体観測 秋山晋一

2008 年 (Vol.20) 3 月号 望遠鏡 400 年【2】 ハーシェル宇宙と望遠鏡 横尾武夫

2008 年 (Vol.20) 3 月号 江戸時代の天文学【5】 江戸幕府の天文学(その4) 嘉数次人

2008 年 (Vol.20) 5 月号 古星図に見る歴史と文化 - 高松塚古墳に描かれた 28 星宿を示すアプリケーションの制作- 河津秀明、真貝寿明

2008 年 (Vol.20) 5 月号 望遠鏡 400 年【3】 現在の大型望遠鏡 - すばる望遠鏡で見てきた宇宙- 白田-佐藤 功美子

2008 年 (Vol.20) 5 月号 江戸時代の天文学【6】 江戸幕府の天文学(その5) 嘉数次人

2008 年 (Vol.20) 7 月号 望遠鏡 400 年【4】 学校望遠鏡から大口径望遠鏡へ 宮下 敦

2008 年 (Vol.20) 7 月号 江戸時代の天文学【7】 江戸幕府の天文学(その6) 嘉数次人

2008 年 (Vol.20) 9 月号 ポーデの法則導出について 作花一志

2008 年 (Vol.20) 9 月号 光速測定の歴史と天文学 渡會兼也

⁷<http://www.amy.hi-ho.ne.jp/oa-web/tuuhan/tenkai.htm>

⁸<http://tenkyo.net/kaiho.html>(2016 年 7 月まで)

<https://tenkyo.net/paper/tenmonkyouiku/>

- 2008年 (Vol.20) 9月号 望遠鏡400年【5】 可視光以外の望遠鏡：電波からガンマ線まで 半田利弘
- 2008年 (Vol.20) 9月号 江戸時代の天文学【8】 江戸幕府の天文学（その7） 嘉数次人
- 2008年 (Vol.20) 11月号 山片蟠桃誕生の地を訪ねて 鳴沢真也、皆神龍太郎
- 2008年 (Vol.20) 11月号 望遠鏡400年【6】 宇宙空間から観測する望遠鏡 長田哲也
- 2008年 (Vol.20) 11月号 江戸時代の天文学【9】 江戸幕府の天文学（その8） 嘉数次人
- 2009年 (Vol.21) 1月号 恒星天文学の源流【1】 恒星分光の開幕期 その1 小暮智一
- 2009年 (Vol.21) 1月号 江戸時代の天文学【10】 岩橋善兵衛 小林英輔
- 2009年 (Vol.21) 3月号 恒星天文学の源流【2】 恒星分光の開幕期 その2 小暮智一
- 2009年 (Vol.21) 3月号 ガリレオ・ガリレイの生涯 - ガリレオ裁判は科学と宗教の対立だったのか? - 株本訓久
- 2009年 (Vol.21) 5月号 恒星天文学の源流【3】 恒星分光の開幕期 その3 小暮智一
- 2009年 (Vol.21) 5月号 江戸時代の天文学【10】 江戸幕府の天文学（その9） 嘉数次人
- 2009年 (Vol.21) 7月号 恒星天文学の源流【4】 恒星分光の開幕期 その4 小暮智一
- 2009年 (Vol.21) 7月号 江戸時代の天文学【11】 江戸時代の星座 嘉数次人
- 2009年 (Vol.21) 9月号 恒星天文学の源流【5】 恒星分光の開幕期 その5 小暮智一
- 2009年 (Vol.21) 11月号 江戸時代の天文学【12】 江戸幕府の天文学（その10） 嘉数次人
- 2009年 (Vol.21) 11月号 恒星天文学の源流【6】 恒星分光の開幕期 その6 小暮智一
- 2010年 (Vol.22) 1月号 特集：世界天文年1
- 2010年 (Vol.22) 1月号 恒星天文学の源流【7】 ハーバード天文台とHD星表の成立 その1 小暮智一 2010年 (Vol.22) 3月号 特集：世界天文年2
- 2010年 (Vol.22) 3月号 江戸時代の天文学【13】 江戸幕府の天文学（その11） 嘉数次人
- 2010年 (Vol.22) 3月号 恒星天文学の源流【8】 ハーバード天文台とHD星表の成立 その2 小暮智一
- 2010年 (Vol.22) 5月号 恒星天文学の源流【9】 ハーバード天文台とHD星表の成立 その3 小暮智一
- 2010年 (Vol.22) 7月号 最新宇宙誌【15】 エポックIV：星と銀河の形成 - 構造形成の時代（後編2） - 福江 純
- 2010年 (Vol.22) 7月号 恒星天文学の源流【10】 ハーバード天文台とHD星表の成立 その4 小暮智一
- 2010年 (Vol.22) 9月号 江戸時代の天文学【14】 久米通賢 - 天文測量の技術を応用した科学者 - 松村雅文
- 2010年 (Vol.22) 9月号 恒星天文学の源流【11】 ハーバード天文台とHD星表の成立 その5 小暮智一
- 2010年 (Vol.22) 11月号 浦島太郎とかぐや姫 - 丹後国風土記と竹取物語の語ること - 作花一志
- 2010年 (Vol.22) 11月号 恒星天文学の源流【12】 星の進化論とHR図表 その1 - 忘れられた先駆者 ウォーターストンとマイヤー - 小暮智一
- 2011年 (Vol.23) 1月号 恒星天文学の源流【13】 星の進化論とHR図表 その2 - ガス球論の発展 - 小暮智一
- 2011年 (Vol.23) 3月号 恒星天文学の源流【14】 星の進化論とHR図表 その3 - 収縮進化説とHD図の成立 - 小暮智一
- 2011年 (Vol.23) 5月号 恒星天文学の源流【15】 星の進化論とHR図表 その4 - 内部構造論の発展 - 小暮智一
- 2011年 (Vol.23) 7月号 尽数関係にある公転軌道の天体が描く美しい図形 - 力学計算をせずに軌道共鳴の安定性を判定できるか - 石坂千春
- 2011年 (Vol.23) 7月号 恒星天文学の源流【16】 星の進化論とHR図表 その5 - 熱核反応と星の進化論 - 小暮智一
- 2011年 (Vol.23) 7月号 天文学史教材としての天体観測機器3DCG復元【1】 日本の歴史 柳澤洋文 他
- 2011年 (Vol.23) 9月号 恒星天文学の源流【17】 星の進化論とHR図表 その6 - 星団と星の進化 - 小暮智一
- 2011年 (Vol.23) 9月号 天文学史教材としての天体観測機器3DCG復元【2】 国産歴と古観測機器 柳澤洋文、福江 純、富田良雄
- 2011年 (Vol.23) 11月号 天文学史教材としての天体観測機器3DCG復元【3】 古観測機器「渾天儀」の3DCG復元 柳澤洋文、福江 純、富田良雄
- 2011年 (Vol.23) 11月号 恒星天文学の源流【18】 星と銀河 その1 - 天空の探索 - 小暮智一
- 2012年 (Vol.24) 1月号 天文学史教材としての天体観測機器3DCG復元【4】 古観測機器「圭表」の3DCG復元 柳澤洋文、福江 純、富田良雄

- 2012年 (Vol.24) 1月号 恒星天文学の源流【19】 星と銀河 その2 - 天空の測深と銀河系- 小暮智一
 2012年 (Vol.24) 3月号 天体の軌道に関する“ベキ乗則”について - 新“ティティウス・ボーデの法則”?- 石坂千春
 2012年 (Vol.24) 3月号 恒星天文学の源流【20】 星と銀河 その3 - 銀河と恒星系- 小暮智一
 2012年 (Vol.24) 5月号 恒星天文学の源流【21】 星と銀河 その4 - 銀河と暗黒星雲- 小暮智一
 2012年 (Vol.24) 7月号 恒星天文学の源流【22】 星と銀河 その5 - 銀河系と渦状星雲- 小暮智一
 2012年 (Vol.24) 9月号 恒星天文学の源流【最終回】 星と銀河 その6 - 銀河系と宇宙- 小暮智一
 2012年 (Vol.24) 11月号 コラム 古事記の中の天文現象 作花一志
 2013年 (Vol.25) 1月号 ファン・ゴッホ『星月夜』考 石坂千春
 2013年 (Vol.25) 1月号 京都千年天文学街道ツアー【1】 安倍晴明を追って 作花一志
 2013年 (Vol.25) 3月号 京都千年天文学街道ツアー【2】 明月記コースと藤原定家 作花一志
 2013年 (Vol.25) 5月号 日本における最初の現代天文学の専門書(1) - 明治初期の日本における天文学書- 株本訓久
 2013年 (Vol.25) 9月号 新島襄とクラーク博士の天文学的關係 - 二人を結びつける隕石研究- 西村昌能
 2013年 (Vol.25) 9月号 新しい暦法の研究 表 正彦
 2013年 (Vol.25) 11月号 チチウス・ボーデの法則とその修正型 表 正彦
 2013年 (Vol.25) 11月号 ヒッグス粒子の発見について - 2013年ノーベル物理学賞- 伏見賢一
 2015年 (Vol.27) 11月号 ニュートリノ振動の発見 - パウリの予言から梶田教授の受賞まで- 川越至桜
 2015年 (Vol.27) 11月号 日本における最初の現代天文学の専門書(2) - Joseph Norman Lockyer の天文学書- 株本訓久
 2016年 (Vol.28) 5月号 星座の名前と歴史(1) ペガサス座とペガサス座 松村雅文ほか
 2016年 (Vol.28) 7月号 星座の名前と歴史(2) 学名と日本語表記について 福江 純
 2018年 (Vol.30) 11月号 晴明・定家のゆかりの地を歩いて早や7年 作花一志
 2018年 (Vol.30) 11月号 「ハッブルの法則」から「ハッブル-ルメートルの法則」へ 国際天文学連合 (IAU) 決議とその対応 岡村定矩
 2019年 (Vol.31) 1月号 研究解説 オランダでの望遠鏡発明の全容 第1章 望遠鏡誕生への道のりと発明者リッペルハイの技術 秋山晋一
 2019年 (Vol.31) 3月号 研究解説 オランダでの望遠鏡発明の全容 第2章 ハーグの宮殿での望遠鏡の実演披露 秋山晋一
 2019年 (Vol.31) 5月号 研究解説 オランダでの望遠鏡発明の全容 第3章 強力な第二の発明者メチウス 秋山晋一
 2019年 (Vol.31) 5月号 研究解説 オランダでの望遠鏡発明の全容 第4章 第三の発明者ヤンセンの正体 秋山晋一
 2019年 (Vol.31) 5月号 圭表儀による観測研究の成果を史跡の保護に生かす 会津藩校日新館天文台跡と丘中学校科学部天文班の活動 宮下和久

6.4 科学史研究

日本科学史学会による「科学史研究」⁹。

- No.273 (2015年4月) 伊能忠敬が瀬戸内海測量で使用した天文測器と「夜中測量之図」の観測地 中村 士
 No.274 (2015年7月) バースカラー一世の渾天儀について 呂 鵬
 No.274 (2015年7月) 江戸時代前期の日本望遠鏡 中村 士
 No.274 (2015年7月) 技術官僚と「科学技術」- 宮本武之輔の歩みから考える 大淀昇一
 No.275 (2015年10月) キトラ古墳星図および関連史料の成立年の数理的再検討 中村 士

⁹雑誌の目次は、268号以降は <http://www.fujisan.co.jp/product/370/> から見られる。

No.275 (2015年10月) 特集 学術誌・科学雑誌の350年

- 刊行初期の『フィロソフィカル・トランザクションズ』 柴田和宏
- 18世紀の科学アカデミー紀要—パリとベルリンの事例から— 隠岐さや香・有賀暢迪
- 我が国における科学雑誌の歴史—総合科学雑誌を中心として— 大石和江・竹内 伸
- 大学図書館から見た学術雑誌の現在 竹内比呂也

No.276 (2016年01月) 特集 近現代の気象学における観測とシミュレーション

- 科学史から見た近現代の気象学—導入に代えて— 有賀暢迪
- 明治初期日本に導入されたスミソニアン気象観測法 財部香枝
- 帝国日本の気象観測網拡大と梅雨研究 宮川卓也
- 台風の数値予報の始まり、あるいは黎明期の計算気象学における問題意識の連鎖 有賀暢迪
- 地球温暖化に関する認識は原因から結果に向かう思考によって発達した 増田耕一

No.276 (2016年01月) 小特集 渋川春海没後300周年：渋川春海研究の新展開に向けて

- 本特集の趣旨 中村士・吉田忠
- 渋川春海研究小史 吉田忠
- 『貞享暦』と『授時暦』に用いられた「沖之之法」 城地茂
- 渋川春海の星座研究—天文占との関係を中心に— 嘉数次人
- 渋川春海の仙台藩学統について 川和田晶子
- 渋川家天文方と渋川関係文書 中村士・伊藤節子

No.277 (2016年04月) 科学史・科学論への多彩なアプローチと継続の意味 2015年地球惑星科学連合大会で行われた科学論セッションについて 青木滋之・矢島道子・山田俊弘

No.282 (2017年07月) 地球惑星科学の科学史・科学論へのお誘い 山田俊弘・矢島道子・青木滋之

No.283 (2017年10月) 御堂関白記に記載された日の出・日の入り時刻の復元 須賀隆

No.284 (2018年01月) 宣明暦と御堂関白記に記載された日の出・日の入り時刻 須賀隆

No.284 (2018年01月) 石原純の自然科学的世界像と昭和初期文壇への影響 加藤夢三

No.284 (2018年01月) ワークショップ「朝鮮科学史研究の現状と課題」と叢書『韓国の科学と文明』 任正〇

No.285 (2018年04月) 和田雄治『朝鮮古代観測記録調査報告』刊行100周年に際して 任正〇

No.285 (2018年04月) 忠犬ハチ公、軍用動物と戦時体制—動物文化史の視点から 溝口 元

No.287 (2018年10月) 木村駿吉の四元数理解と「万国四元法協会」の提案 益田すみ子

No.287 (2018年10月) 2018年地球惑星科学連合大会における科学論セッションの報告 青木滋之・矢島道子・山田俊弘

No.289 (2019年04月) 『天経或問』の刊本と写本 平岡隆二

No.289 (2019年04月) 板倉聖宣の科学史研究と仮説実験授業 多久和俊明・宮地祐司・塚本浩司・舟橋春彦・渡辺規夫

6.5 日本洋学史研究

日本洋学史研究は、有坂隆道編として、1968年から1991年まで断続的に10巻が創元社学術双書として出版された。天文に関係しそうなものを pick up.

町人天文学者の思考態度 間重富の場合, 末中哲夫, I 所収
 享和期における麻田流天文学者の活動をめぐって 『星学手簡』の紹介, 有坂隆道, I 所収
 「和魂洋才」的思惟構造の萌芽 杉田玄白を中心に, 山崎彰, II 所収
 司馬江漢の洋風画と蘭書, 菅野陽, II 所収
 司馬江漢著『独笑妄言』, 有坂隆道, II 所収
 『天地二球用法国名』考, 海野一隆, III 所収
 江戸時代における望遠鏡製作について, 有坂隆道, III 所収
 司馬江漢の著書『種痘傳法』と銅版「天球図」について, 菅野陽, V 所収
 神田孝平の数学観をめぐって, 田崎哲郎, V 所収
 寛政期における麻田流天文学者の活動をめぐって, 有坂隆道, V 所収
 山片樺桃の大宇宙論について, 有坂隆道, VI 所収
 司馬江漢製「地球儀」, 菅野陽, VII 所収
 ファルク「地球儀」伝来の波紋, 海野一隆, VIII 所収

7 原著

7.1 図録, 図鑑

- 飛鳥資料館 図録第54冊『星々と日月の考古学』(H23)
- 飛鳥資料館 図録第63冊『キトラ 古墳と天の科学』(H27)
- 奈良文化財研究所研究報告第16冊『キトラ古墳天文図 星座写真資料』(2016)
- 『江戸時代の科学』(1938年)東京科学博物館(編集), 復刻版H7年 名著刊行会
- Danielle Jacquart (原著), 吉村 作治 (監修), 遠藤 ゆかり (翻訳)『アラビア科学の歴史』(創元社, 2006)
- 飛鳥村教育委員会編『高松塚古墳壁画』(飛鳥保存財団 高松塚壁画館, H14年)
- INAX ライブミュージアム編『手のひらの太陽』(LIXIL 出版, 2014)
- 太田浩司, 勝盛典子, 酒井シヅ, 鈴木一義 (監修) 『江戸の科学 大図鑑』(河出書房新社, 2016)
 蘭学、天文暦術、地球儀・地図、本草学・博物学、医学医術・人体図、化学、「からくり」、和算、鉄砲、写真、など江戸科学の世界をヴィジュアルに総覧する大型図鑑。5000円超だが、その価値はある。

7.2 日本科学技術古典籍資料

The Collected Historical Materials in Yedo Era とも題された国立国会図書館所蔵本のコピー集。科学書院発行。近世歴史資料集成 第III期。各5万円。高くて買えない。京都府立図書館にあり。

- 天文学編【1】安倍泰邦『寶曆曆法新書』(16巻)-1754(寶曆4)年に奏進, 安倍泰邦『寶曆曆法新書・續録』(2巻), 高橋至時・間重富 撰、安倍 泰榮校『曆法新書』(8巻)-1797(寛政9)年に奏進, 渋川景佑 撰『新法曆書』(10巻)-1814(天保13)年に奏進, 新法曆書新曆法稿ト曆法新書ノ對校之覺書付 - 2000年12月初版

- 天文学編【2】 渋川景佑撰『寛政曆書』, 渋川景佑撰『寛政曆書・續録』, 渋川景佑撰『新修五星法』(10卷)-2000年12月初版
- 天文学編【3】 高橋至時遺説、渋川景佑編述、足立信頭・渋川敬直校『續新巧曆書』, 渋川景佑・足立信行編、山路諧孝・山路彰常校、安倍晴雄閲覧『新法曆書續編』1846, 本居宣長著『真曆考』1782, 中根元圭撰『皇和通曆』1793-2001年1月初版
- 天文学編【4】 渋川春海撰『天文瓊統』1670, 渋川佑賢解・輯『[校正]天経或問國字解』1853, 渋川景佑編撰『[新修]彗星法』, 西川忠英(西川如見) 輯『兩儀集説』1714, 渋川春海撰『日本書紀曆考』, 平田篤胤撰述、穂井田忠友・川崎重恭・羽田野敬雄 校『春秋命歴序攷』1833, 馬場信武 著『初學天文指南』[内題『初學天文指南鈔』1706 伊能忠敬 著『[佛國]曆象編斥妄』-2001年4月初版

科学書院発行. 近世歴史資料集成 第IV期.

- 天文学編【5】 平田 篤胤撰『天朝無窮曆』(7卷) 平田 篤胤撰『三曆由来記』(3卷) 釋 圓通序『佛國曆象編』(5卷) 司馬 江漢著『和蘭天説』(1卷) 渋川 景佑撰『星學須知』(8卷) 池田 好運編『元和航海書』(1618年)
- 天文学編【6】『西洋曆法新書』1645

科学書院発行. 近世歴史資料集成 第VI期.

- 天文学編【7】『天学指要』『天文図解発揮』『天文秘録集』『天文図説』『天文義論』『長慶宣明曆算法』『本朝天文』『運規約指』

科学書院発行. 近世歴史資料集成 第VII期.

- 天文学編【8】『授時曆正解』『元史授時曆図解』『授時曆図解発揮』『授時曆経諺解』『古曆便覧保存備考』
- 天文学編【9】井口常範『天文図解』, 『測地絵図』『談天』『測候叢談』

科学書院発行. 近世歴史資料集成 第VIII期.

- 天文学編【10】-2016年5月 https://www.kagakushoin.com/products/detail.php?product_id=1787 『貞享解』
- 天文学編【11】-2017年4月 https://www.kagakushoin.com/products/detail.php?product_id=118 渋川春海 撰『天文瓊統』, 渋川佑賢 解・輯『[校正]天経或問國字解』, 渋川景佑 編撰『[新修]彗星法』, 西川忠英(西川如見) 輯『兩儀集説』, 渋川春海 撰『日本書紀曆考』, 平田篤胤 撰述、穂井田忠友・川崎重恭・羽田野敬雄 校『春秋命歴序攷』, 馬場信武 著『初學天文指南』[内題『初學天文指南鈔』](5卷5冊、国立公文書館所蔵、寶永3[1706]年刊行、194-63), 伊能忠敬 著『[佛國]曆象編斥妄』
- 天文学編【12】-2017年6月 https://www.kagakushoin.com/products/detail.php?product_id=1799 「授時曆」と「天経或問」を研究した、西村遠里と入江脩の著作物を掲載

7.3 文明源流叢書

国書刊行会 <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03832978>

- 第1: 蘭学事始2卷(杉田玄白) 南蛮寺物語, 天馬異聞(吉雄如淵訳) 伊曾保物3卷, 漂荒紀事6卷(デフォー) 蘭学階梯2卷(大槻玄沢撰) 蘭学逕(藤林淳道) 輿地誌略8卷(青地林宗訳) 紅毛談2卷(後藤梨春) 紅毛雑話6卷(森島中良) 蘭説弁惑2卷(大槻磐水撰)
- 第2: 乾坤弁説4卷(沢野忠庵訳) 曆象新書6卷(寄兎著志築-忠雄撰) 気海観瀾(青地林宗訳) 植学啓原3卷(宇田川榕庵訳) 解体新書4卷, 附図(杉田玄白訳) 和蘭医事問答2卷(建部清庵, 杉田玄白)

- 第3: 航米日録7巻(王虫誼) 流漂記(彦蔵) 異人恐怖伝3巻 附録(検夫爾著 志築忠雄訳) 日本風俗備考22巻(ヒスセル著 杉田成卿等訳) 倭蘭年表3巻(オットモンエセ著 魁山無懐子訳) 西洋学家訳述目録(穂亭主人編) 鉄研斎軒書目(斎藤正謙編)